

mandatory

～義務の、必須の～

ヨーロッパの学校では新学期が始まりましたが、マスク着用の範囲が議論的となっています。わが国と違うのは、教室内では付けない方向で検討している点。発言するときマスクがずれてしまうのが主な理由のようです。

確かに、欧州言語は口を大きく動かして話すうえ、破裂音も多いのでマスクが膨らんだりしぼんだりします。マスク嫌いの一因は着用時の話しにくさにあるのかもしれませんがね。

The use of face coverings in corridors and communal areas at schools became **mandatory**.

学校の廊下や共有エリアではマスク着用は義務となりました。

mandatory は「義務の、必須の」という形容詞です。法律や規則として決まっていて、それを遵守しなければならない場合に使われます。mandatory subject といえば学校の「必修科目」。

同義語 compulsory も compulsory education (義務教育)、compulsory military service (兵役の義務) といったフレーズで使われます。一般的には mandatory と比較して強制力が弱いといわれますが、受け止め方が人によって違うので、ほぼ同じニュアンスと考えていいでしょう。

Wearing masks is not **mandatory**, but everyone wears it voluntarily.

マスク着用は義務ではありませんが、みな自主的に着用します。

マスク着用に関するわが国の事情を伝えるのに便利な言い回しです。voluntarily は voluntary (自発的な、自主的な) の副詞形。voluntary の同義語には optional (任意の、選択自由の) があります。学校で optional subjects と言えば「選択科目」。名詞 option (選択肢) からイメージできますね。

Upon arrival you must go into a **mandatory** 14-day period of self-quarantine.

到着したら、14 日間の強制自宅待機に入らなければなりません。

空港到着時の対応はこう説明できそうです。upon arrival は「到着直後に、到着してすぐに」。upon request なら「要求に応じて、要求があり次第」。

quarantine は病原体を持ち込まないための「検疫」。「隔離」の意味でも使われるので、self-quarantine で自己隔離→自宅待機となります。

単語・熟語チェック

corridor 廊下

voluntarily 自主的に

communal 共有の、共同の

quarantine 検疫